

## 伊方原子力発電所環境安全管理委員会技術専門部会 (H22. 1. 29) でとりまとめられた意見

- 1 敷地周辺の地質・地質構造の評価については、四国電力により指針に沿って種々の調査が実施され、原子力安全・保安院の独自調査結果で整合性が確認されていること等から、必要な調査が適切に実施され、断層等の評価についても適切に実施されているものと認められる。
- 2 地震動評価については、地質・地質構造の調査や断層等の評価結果に基づき、不確かさを安全側に考慮した震源モデルが設定され、適切な評価手法により地震動評価が行われており、国においてもこれらの妥当性が確認されていることから、今回設定された基準地震動570ガルは妥当なものと認められる。
- 3 施設の耐震安全性評価については、今回設定された基準地震動に対して、指針に沿った適切な地震応答解析手法により、伊方3号機の主要な建屋及び施設に係る耐震評価がなされた結果、評価基準値を満たしており、国の独自解析によっても地震応答解析の妥当性が確認されていることから、耐震安全性は確保されたとした評価結果は妥当なものと認められる。

### (附帯意見)

四国電力は、今後とも、耐震安全性にかかわる新しい知見や事象に対しては、その都度、迅速かつ適確に検討・評価を行うこと。